

Electrophoresis Power Supply EPS 301 ショートインストラクション

使用上の注意点

電気泳動用パワーサプライは高電圧、高電流を発生しますので、必ずユーザーマニュアルの安全に関する注意の項をよくお読みのうえ、取扱いには充分にご注意ください。

1. 室内でのみご使用ください。
2. アースが取付けられていることをご確認ください。
3. 発熱しないよう、後部および側面の通気孔が塞がれていないかご確認ください。
4. 極度に多湿（95%）な場所での使用は避けてください。また、寒い場所から温かい場所に移すときは、当製品の温度が周囲の温度に近くなるまで待ってから、結露がないことを確認のうえご使用ください。
5. 定期的に柔らかく湿った布で拭き、清潔に保ってください。使用する際には、完全に乾いた状態になっているかをご確認ください。
6. 使用する部品（電線等）が、使用する電圧に適しているかまた損傷はないかを確認のうえ、ご使用ください。

セットアップの手順

1. バックパネルの電圧切り換えスイッチを"100-120"にセットしてください。
2. ケーブルの一方を本体に接続し、もう一方をアース付きAC100V電源に接続してください。
3. バックパネルのメインスイッチをオンしてください。電源を入れる度にセルフチェック機能が作動します。エラーが検出された場合は、ディスプレイにメッセージが表示されるとともに、アラームが鳴ります。
4. 電気泳動ユニットのリード線を接続します。赤と赤、黒もしくは青と青を接続してください。赤がプラス、黒もしくは青がマイナスです。

トラブルシューティング

泳動中もしくはメインスイッチがオンになっているときエラーが発生すると、必要に応じて出力は停止し、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。"-PF-"と数値が交互に表示されたときは、メインケーブルの接続に関するトラブルです。正しく接続されれば元のプログラムがそのまま実行されます。どれかキーを1つ押すとエラーメッセージは消えます。"FAIL"は重度のエラーが生じたときに表示され出力は自動的に停止されます。この場合は弊社バイオダイレクトライン (TEL:03-5331-9336 e-mail:Tech-JP@cytiva.com) までご連絡ください。



禁止

同梱の電源コード・電源プラグ以外のコード・プラグを使用しない

故障・火災・感電の原因になります。

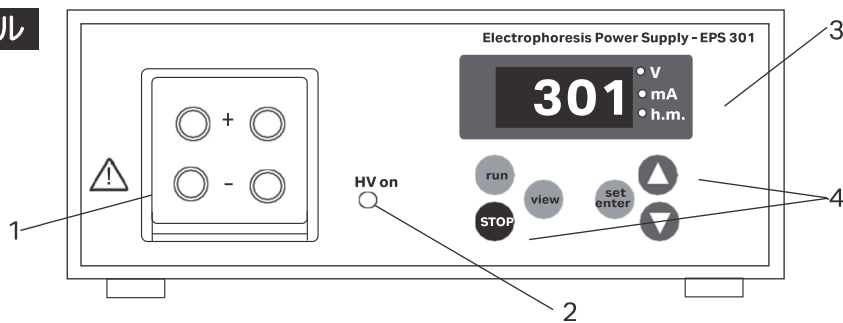


禁止

同梱の電源コード・電源プラグを他の電気機器に使用しない

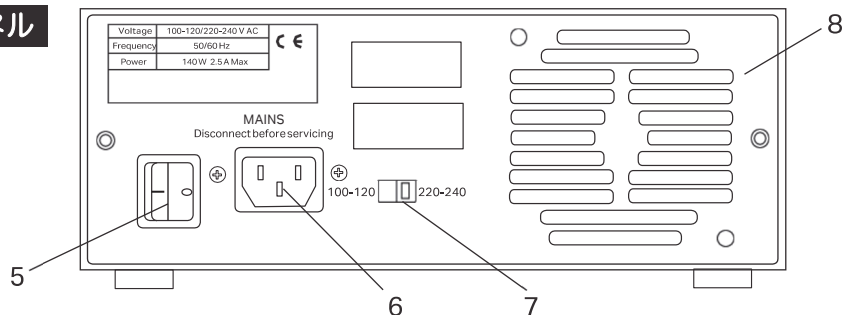
故障・火災・感電の原因になります。

フロントパネル



- コネクター**
同時に2つの電気泳動装置を接続できます。出力形式(コネクター形状)はφ4 mmになっています。
- HVオン**
電圧がかかっている状態のときダイオード発光にてライトが点灯します。
- ディスプレイ**
プログラム中には設定値が、泳動中にはその時のパラメーター値が、泳動終了後には最終のパラメーター値が表示されます。エラーメッセージも表示されます。
- キーボード**
 - set enter** : プログラムモードに切り換わります。プログラムモードでは、まずプリセットしたい数値を入力し、再度このキーボードを押すことにより入力の値を確定し、次のパラメーターに移ります。ランモードにおいても実行の状態プログラムが変更できます。
 - ▲ ▼** : ディスプレイが点滅しているときに数値 (V, mA, h.m.) を変更します。数値は最大値の次に最小値があり一循環するようになっています。
 - run** : プログラムモードをランモードにします。実行状態ではHVオンが点灯します。
 - view** : ランモード及びエンドモードの状態でV, mA, h.m.値の切り換えを行います。3秒以上続けて押すと自動的に切り換えが行われます。再び **view** または **run** を押すと止ります。
 - STOP** : 実行を停止します。停止後はエンドモードとなりHVオンは消灯します。

バックパネル

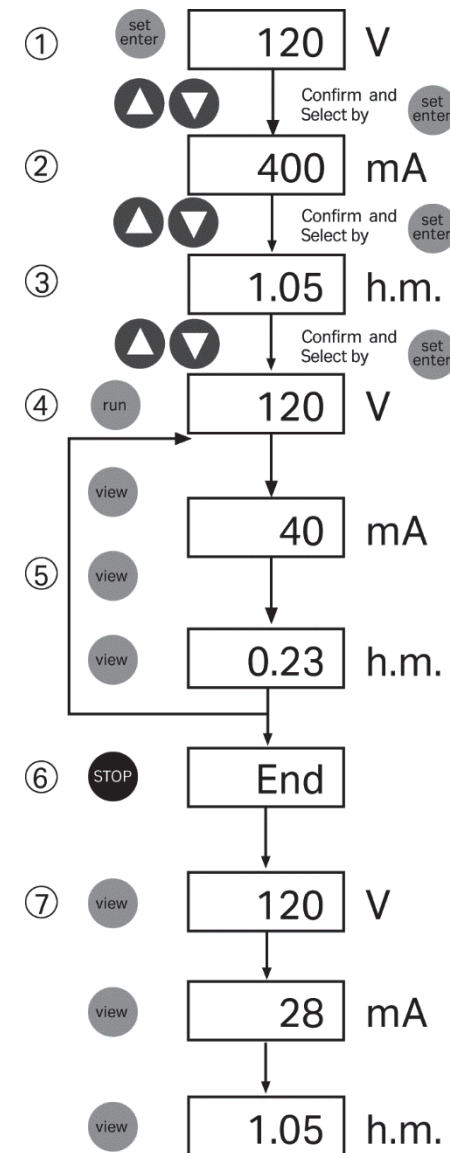


- メインスイッチ (ーガオン)**
- 電圧切り換えスイッチ** (日本で使用する際は100~120Vに設定してください)
- メインケーブルの接続部分**
- 通気孔**

プログラミングおよび実行の手順 (例)

- set enter** を押し、プログラムモードに入ります。電圧Vが光り数値が点滅するので、**▲ ▼** で設定電圧値を希望の数値にします(設定可能範囲5~300 V)。再び **set enter** を押しと電圧値が確定され、次のパラメーター電流mAが光り数値が点滅します。
※ここでは最大電圧を120Vにします。
- ▲ ▼** で設定電流値を入力し、**set enter** を押しと電流値を確定します(設定可能範囲10~400 mA)。
※ここでは最大電流を400 mAにします。
- 時間h.m.が光り、数値が点滅するので、**▲ ▼** で泳動時間を入力します(設定可能範囲0.01~23.59 h)。
※ここでは1.05 h.m.(1時間5分)にします。
ディスプレイは"----"とします。**set enter** を押し、時間を確定します。
- プログラムの入力が完了しました。
run を押しして実行します。
- 実行中にリアルタイムで実行値を見るときは、**view** を押しします。3秒以上 **view** を押し続けると、3つの値が自動的に切り替わり表示されます。
- 設定時間になると自動的に出力が切れ、アラームが鳴ります。どれか1つキーを押すとアラームは止ります。また、設定時間より前に終了させたい場合、**STOP** を押しします。ディスプレイにはEndが表示されます。
- view** を押しと最終のパラメーター値が表示されます。

- * 電源を切ったときのプログラムを次にそのまま実行する時は④の操作から行います。
- * プログラム実行中(ラン状態)にも泳動パラメーターを変更することができます。詳しくはユーザーマニュアルをご覧ください。



Cytiva (サイティバ)

グローバルライフサイエンステクノロジーズジャパン株式会社
〒169-0073
東京都新宿区百人町3-25-1 サンケンビルディング
お問合せ: バイオダイレクトライン
TEL: 03-5331-9336
e-mail: Tech-JP@cytiva.com



Intertek
ISO 9001:2015
認証取得